



## 【input と output の強い味方 ～2つの力を養うためには～】

最近、英語で書かれた新聞やインタビュー記事、チラシなどを目にする機会が多くなりました。教育現場で、これらに関する自分の意見を、生徒に英語で表現させる機会を増やしたい！ という先生方の声を多く耳にします。このために必要なのは、「対象を正確に理解する力」と「理解した内容を表現する力」です。New Angle シリーズでは、この2つの力を養うサポートをします！

## input の力を養うために、New Angle に施された工夫の数々

見たものに対して、話し手の主観的な判断を交えて様子を表す表現です。

### 218 seem to ~

〈S + seem + to-不定詞〉は、「Sは～のようだ、Sは～らしい」という意味。  
218の to be tired(疲れている)は、述語動詞 seem(～のようである)の表す「時」と同じ「時」を表している。

関連 (It seems that + S ~) への書きかえ

218 = It seems that he is tired today.

注意 × He seems that he is tired. とは言えない。He seems to be tired. か It seems that he is tired. のように表すこと。

発展 〈S + appear + to-不定詞〉も「Sは～のようだ、Sは～らしい」という意味だが、ふつう目で見えた時の客観的な状況を表す場合に使われる。

▶ The woman **appears to be** in her forties. (その女性は40代のようだ。) = It **appears that** the woman is in her forties.

↑ 参考書 p.202 「不定詞を含む重要表現」

確信の度合いについて、ネイティブの感覚を学生にもわかりやすいように、視覚的に表現しています。

### 766 「確信の度合い」を表す副詞

necessarily / inevitably (必然的に)  
certainly / surely (確かに), definitely (間違いなく)  
probably / likely (おそらく, たぶん)  
perhaps / maybe (もしかすると, たぶん)  
possibly (ひょっとすると) など

確信の度合いが高い

確信の度合いが低い

「確信の度合い」を表す副詞の位置

ふつう一般動詞の前, または be 動詞・助動詞の後に置く。文中に置くことが多いが、文頭や文末に置くこともある。

▶ **Maybe** I could come to your place. (僕はたぶん君の家に行けるだろう。)

↑ 参考書 p.600 「文を修飾する副詞」

### 833 from「～から」/ to「～へ(に)」/ from A to B「AからBへ」

from は「起点(を離れる)」、to は「到達点(に着く)」を表す。

▶ It's about 300 meters **from** the station **to** my house. 833

▶ This road leads **to** the city.

(この道はその都市へと続いている。)

to は「到達点」を表すので、この道を進めばその都市に到着することが表される。



### 834 into「～の中へ」⇔ out of「～(の中)から外へ」

into は in と to が合体したものである。「到達点の中へ」すっぽり入ること、out of はその逆で「～の中から外へ出てくる」ことを表す。

▶ As soon as she came **into** the room, he went **out** (of it).

(彼女が部屋に入ると、すぐに彼は出て行った。)

補足 onto(on to)「～の上へ」

▶ He stepped **onto** the platform. (彼はプラットフォームに降り立った。)



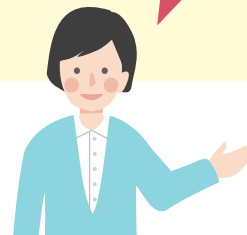
場所を表す前置詞について、イラストを用いてわかりやすく解説しています。

無料見本のご依頼は裏面のお申込みフォームから ▶▶▶

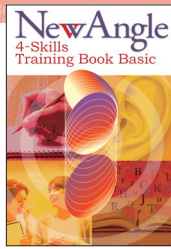
↑ 参考書 p.650 「場所を表す前置詞〈方向を表すもの〉」

## output の力を養うためには...?

2019年秋の新刊をご紹介します！  
裏面をご覧ください！



# 2019 年秋の新刊!



New Angle シリーズに、「4-Skills Training Book Basic」が加わりました!

## 本紙の Point

トピックは 15 種類! ひとつのトピックについて、7 種のスキルトレーニングに取り組みます!

Chapter ① Traveling Around

Q1. Reading Aloud  
Read the texts aloud. You have 25 seconds to prepare for each text.

(a) Some travel in groups, and others travel alone. Taking a trip has some good points. We can see beautiful scenery and famous places. We can also try local foods and drinks.

(b) Yuka went to Okinawa with her family last year. The beach in front of their hotel was very beautiful. She enjoyed staying there, but there was one thing she couldn't enjoy. It was swimming.

(c) I've learned that we don't have to worry too much about differences in language and culture. People all over the world have a lot of things in common.

[Write down words whose pronunciations you need to practice.]

QR コードから  
音声を無料で  
聞くことができます!

## Chapter の構成

- 1 Reading Aloud
- 2 Finding Mistakes
- 3 Dictation Practice
- 4 Repeating Practice
- 5 Describing Pictures
- 6 Writing a Short Essay
- 7 Arranging Words

Q5. Describing Pictures  
Work in pairs for this question. Look at the pictures and describe them in English. You have 25 seconds to prepare for each picture.

(a) (b)

[Make notes before giving a description.]

## 解答解説の Point

なんと本紙と同じページ数! 取り組む際のヒントやアドバイスも充実!

Q5. Describing Pictures  
※以下はあくまで解答の一例です。自分なりに着目した要素を英語で描写し、声に出してみましょう。

(a) There is a woman sitting on a chair. It seems that she is going on a trip because she has a suitcase beside her. She is using her smartphone with a computer on her lap. She is probably looking for information about the places she is going to visit.  
椅子に座っている女性があります。彼女のそばにスーツケースがあるので、彼女は旅行に行くところであるようです。彼女はコンピュータを膝の上に置いて、スマートフォンを使っています。彼女はおそらく訪れる予定の場所に関する情報を探しているでしょう。  
解答例 (It seems that + S ~) 「S は~ のようだ、S は~らしい」 → NewAngle p.202

(b) There is a couple on the street. The woman is wearing a hat and the man is wearing a cap. They are looking at the map the man has. They are probably tourists and checking how to get to their destination.  
通りにカップルがいます。女性はつばのある帽子をかぶっており、男性はつばのない帽子をかぶっています。彼らは男性が持っている地図を見ている。彼らはおそらく旅行者で、目的地への行き方を確認しているでしょう。  
解答例 probably 「おそらく、たぶん」という意味の確信の度合いを表す副詞。  
位置はふつう一般動詞の前、または be 動詞・助動詞の後。 → NewAngle p.600

アドバイス

- 最初に賛否を明確に表現しましょう。  
解答例 (I agree with + 名詞) (I disagree with + 名詞)
- 賛否の理由を明確に表現しましょう。  
解答例 (This is because S + V ~) \* (Because S + V ~) は、Why から始まる疑問文に対して応答する場合を除いて不可。(One reason (for this) is that S + V ~)
- 語(句)を列挙するときの表現を覚えましょう。  
解答例 A, B(,) and C  
A, B, C にはそれぞれ文法的に対等な語(句)が入る。 → NewAngle p.383

参考書の解説ページへのリンクも掲載  
(全問についています!)



## 見本お申込みフォーム

### ご注文方法のご案内

こちらの用紙にご記入の上、FAXをお送りいただくか、直接お電話をおかけください。

お電話/FAXは以下へ

TEL. 03-3304-5562 FAX. 03-3304-5316

### 送料のご案内

送料はかかりません。  **ご審査・ご検討用見本 (無料)**

▼ご依頼の教材にチェックをつけてください。

- New Angle シリーズ (6 点セット\*)  
 4-Skills Training Book Basic

\* 6点セットの内容: 総合英語(参考書)/27シリーズの Textbook & Workbook/47シリーズの Textbook & Workbook/Test Box (テスト作成ソフト) サンプル CD の計【6点】

貴校名

お電話番号

送付先住所

ご担当者名

役職名

Email アドレス

**教育開発出版株式会社**

学校事業部 / 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-39-19  
TEL.03 (3304) 5562 FAX.03 (3304) 5316  
<https://www.kyo-kai.co.jp/special/new-angle/>

